

3.2 旧証明書の削除

2022年5月15日以降にデジタル証明書を更新すると、2022年5月15日午前5時以前に発行された旧証明書は自動で削除されません。

新証明書に更新後、旧証明書を削除しないままにしますと、旧証明書の有効期限内に「有効期限チェックツール」から更新を催促するメッセージが表示されます。そのため証明書の更新後、すみやかに旧証明書の削除をお願いします。

以下の方法により旧証明書をご利用の端末から削除してください。

- ①「デジタル証明書削除ツール（以下「削除ツール）」を用いて自動で削除する。
- ②ブラウザから手動にて削除する。

通常は①を実施いただき、端末の環境により削除ツールが実行不可やエラーになる場合は②を実施してください。

3.2.1 削除ツールによる旧証明書の削除

<動作環境>

削除ツールの動作環境は以下のようになります。

■対象 OS

- ・Windows 10

※「Windows Scripting Host」が利用できること（対象 OS では標準対応）。

※日本語版 OS のみ対応。

なお、削除ツールの実行時に OS の管理者権限は必要ありません。

(注)「削除ツール」をご利用にあたって、御社のセキュリティポリシーの設定によっては「削除ツール」のダウンロード時やインストール時に下記状態となるケースがございます。

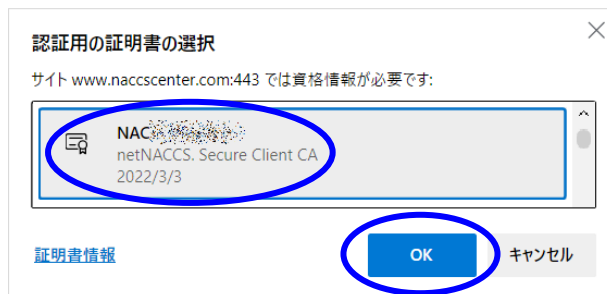
- ・「削除ツール」がセキュリティソフトにてウイルス検知される。

このような場合は、御社のシステム管理者とご相談の上、当該ツールをご利用ください。御社のセキュリティポリシーの設定上、当該ツールのご利用が不可の場合は、「[3.2.2 手動による旧証明書の削除](#)」を実施してください。

3.2.1.1 削除ツールのダウンロード

以下の手順に従い、削除ツールをご利用の端末にダウンロードしてください。

- (1) 以下の NACCS 利用者掲示板へアクセスします。
「<https://bbs-cust.naccscenter.com/>」
- (2) デジタル証明書の選択画面が表示されますので、現在使用中の証明書名を選択し、
[OK] ボタンをクリックします。（※ブラウザにより画面が異なります）



- (3) パッケージソフトデジタル証明書 デジタル証明書インストールツール（※有効期限チェック機能版）ダウンロード（手順書含む）にアクセスします。
- (4) 「デジタル証明書削除ツール」に掲載されている「デジタル証明書削除ツール」のリンクを右クリックし、メニューから「名前を付けてリンクを保存」を選択します。
（※ブラウザにより表記が異なります）
- (5) 「名前を付けて保存」画面が表示されるので、「デスクトップ」を選択し、[保存] ボタンをクリックします。
- (6) デスクトップに「**certRemove.vbs**」が保存されます。
※ご利用端末の環境によっては「certRemove」と表示されます。

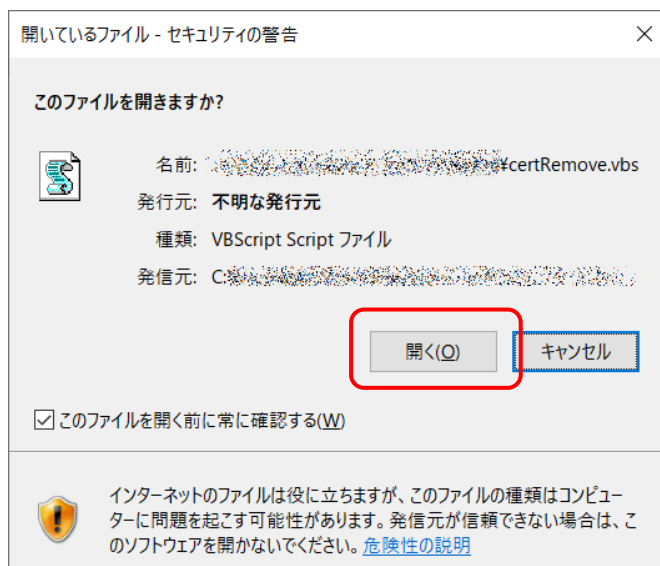


3.2.1.2 削除ツールの実行

- (1) デスクトップにある「デジタル証明書インストールツール_NET4.6 版」を起動し、当該手順書「3.1 証明書更新(6)」で選択した「**更新する証明書（認証コード1）**」を表示してください。
- (2) デスクトップの「certRemove.vbs」アイコンをダブルクリックします。
※ご利用端末の環境によっては「certRemove」と表示されます。

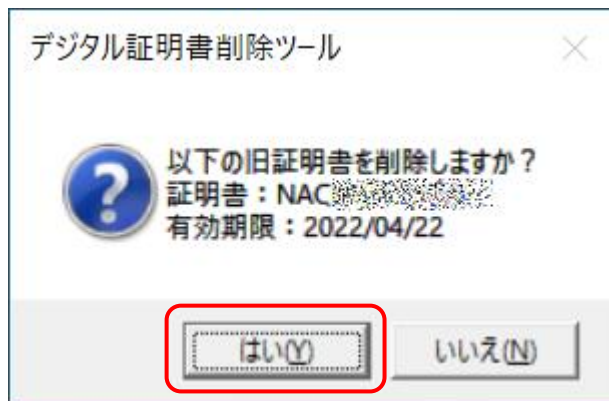


- (3) 「セキュリティの警告」画面が表示された場合は、[開く] ボタンを押します。

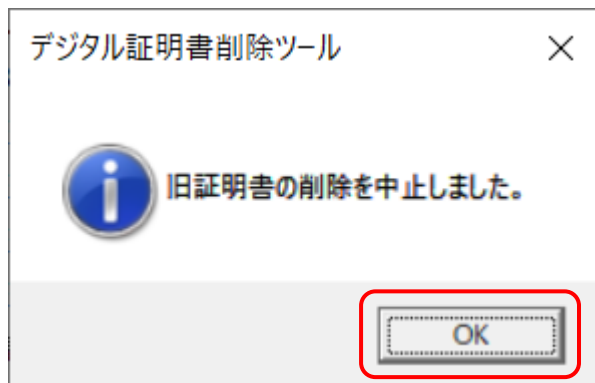


(注) 削除ツールの実行中に黒い画面が何度か表示されますが、正常な動作となります。

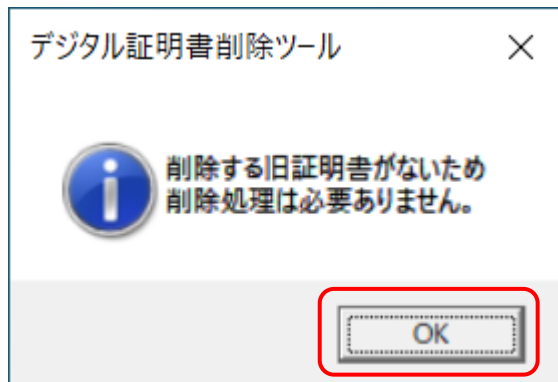
- (4) 黒い画面が表示された後、「以下の旧証明書を削除しますか？」という画面が表示されます。端末でご利用中の「**認証コード 1**」が「証明書：」の欄に表示されていることを確認し、[はい] ボタンを押してください。



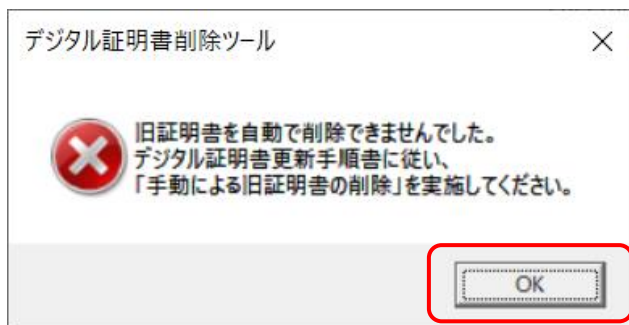
※ご利用中の**認証コード 1**とは異なる表示がされている場合は [いいえ] ボタンを押して下さい。削除ツールの実行が中止されます。[OK] ボタンを押したのち、「**3.2.2 手動による旧証明書の削除**」を実施してください。



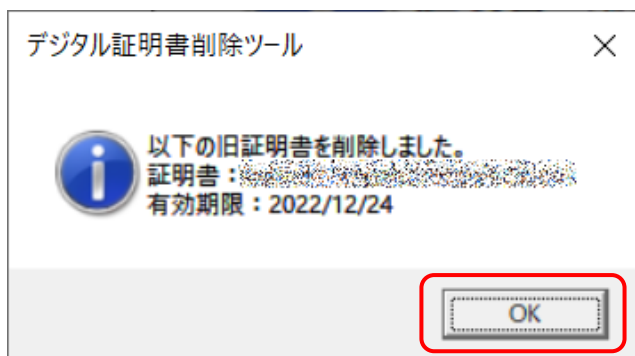
※**削除対象となる旧証明書が存在しない場合は**、「削除する旧証明書がないため削除処理は必要ありません。」と表示されます。[OK] ボタンを押して終了してください。



※「旧証明書を自動で削除できませんでした。」というエラー画面が表示された場合は、「OK」ボタンを押したのち、「3.2.2 手動による旧証明書の削除」を実施してください。



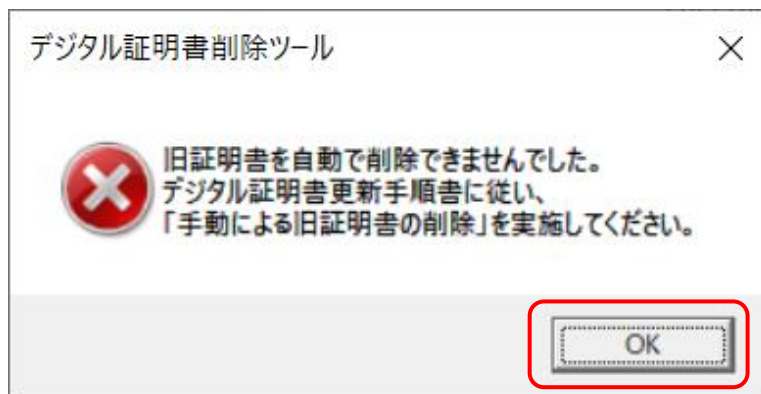
- (5) 黒い画面が表示された後、「以下の旧証明書を削除しました。」という画面が表示されます。「OK」ボタンを押してください。



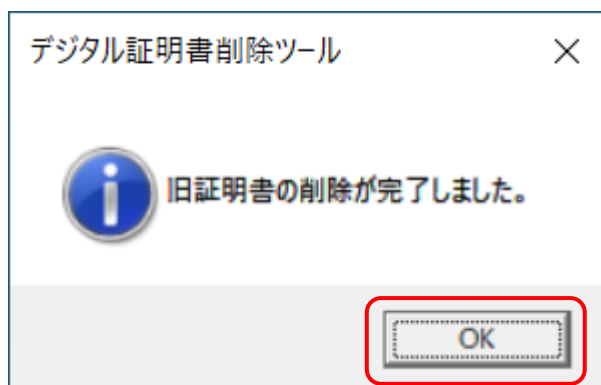
※削除対象の旧証明書が端末に2枚以上インストールされている場合は、「他の旧証明書が残っていますので、削除画面に戻ります。」というメッセージが合わせて表示されます。この場合は(4)の画面に戻ります。



※ 「旧証明書を自動で削除できませんでした。」というエラー画面が表示された場合は、[OK] ボタンを押したのち、「3.2.2 手動による旧証明書の削除」を実施してください。



(6) 削除対象となる旧証明書がすべて削除されると、「旧証明書の削除が完了しました。」と表示されます。[OK] ボタンを押してください。



- (7) 削除ツールの利用後、本ツールは不要となりますので、「certRemove.vbs」ファイルを削除します。ファイルを選択してからキーボードの「Delete」キーを押してください。

以上で、削除ツールによる旧証明書の削除は完了となります。

3.2.2 手動による旧証明書の削除

削除ツールが利用できない場合は、以下の手順に従い対象の旧証明書を手動で削除してください。